

令和7年度 日本博2.0を契機とする文化資源コンテンツ創成事業「文化資源活用推進事業」事例集<概要版>

事業の目的

本事業は、文化芸術や観光分野の専門人材を軸として、地域のアーティスト、住民や芸・産学官との連携協力体制を構築し、日本博 2.0 を契機として地域の文化芸術資源を活用した新しい時代のインバウンド需要に資する文化芸術事業を積極的に支援。それに併せて、観光分野等の専門家による検討及び助言等の伴走型支援を実施し、創造性ある文化芸術事業の自走化に向けた積極的な取組の促進を図った。

	採択事業の概要	事業推進における課題	専門家の提言（抜粋）	事業への反映
札幌市	「国際的な音楽祭「PMF」を活用した地域文化芸術の振興及び国内外観光客の誘致事業」 30年以上の歴史を持つ国際的な教育音楽祭であるPMF（Pacific Music Festival）を活用し、国内外の観光客等に向けた演奏会事業、若手音楽家の教育事業や地域・子供への音楽普及事業等を実施	✓ さらなる誘客に向けて認知を拡大するにあたり、イベントの意義や価値をどのように伝えていくか	✓ 「観光×文化芸術体験」の偶発的な接触機会を創出	✓ 人が集まる場所での演奏会（アウトリーチコンサート）の実施
		✓ イベント全体の収益をどのように拡大するか	✓ 応援金の使途・目的を明確化	✓ 人気ブランドとのコラボ ✓ 民間事業者（航空/旅行会社）と連携したツアー造成
		✓ 企業協賛をどのように強化していくか（企業数増・協賛単価向上）	✓ 「営業先企業の社内稟議を通す」から逆算して戦略立て	✓ 「地域と歩んできた35年」を地元企業・既存協賛企業にアピール
京都市	「KYOTO×Media Performing Arts ～古都で交わる伝統と現代～」 京都市が総合プロデュースを行い、岡崎地域を中心にメディア芸術、舞台芸術、美術と京都ならではの文化・観光資源を融合させた総合文化芸術事業（「京都国際マンガ・アニメフェア」等）を展開	✓ どのように各会場の取組に一体感をもたせ、イベント内周遊を促進するか	✓ 会場やその周辺でイベント参加者が興味をもちやすいイベントを同時に開催し、地域内周遊を促進	✓ 「コスプレ」を切り口に各施設に役割をもたせ、来場者の移動を活発化
		✓ ファンがイベントを応援できる機会をどのように設けるか	✓ コアなファンを育成し、ともに盛り上げていただくことで盛り上がりライト層に波及	✓ 金銭的な寄付にとどまらず若手クリエイター作品の掲出場所拡大を目的としたクラウドファンディングを実施
		✓ インバウンドを含む来訪者に街中の文化芸術をどのように体験してもらうか	✓ 来訪者が街を歩きたくなるような工夫を凝らすことが重要	✓ アーティストがガイドになり別府をの街や市内のアート作品を巡るツアーを造成・販売
別府市	「別府市を起点とした大分県の地域文化資源活用推進事業」 市内を舞台としたアート作品展示「ALTERNATIVE-STATE」や若手アーティストが集う「Art Fair Beppu プレ」等、拠点性・周遊性を高めるプロジェクトを展開	✓ 認知獲得に向けてどのように情報発信をするか	✓ 類似イベントやターゲット層が訪れる場所での情報発信・認知拡大	✓ 他アートフェアや美術館にポスターを送付・掲示依頼
		✓ 他のアートフェアや美術館とどのように連携するか		

伴走型支援